

地区の方針

RIテーマ

人類に奉仕するロータリー

RI会長強調事項 ・ 「年度会長賞」参照

※クラブ目標をMy Rotary → ロータリー・クラブ・セントラルに入力することが必須であり、今後、クラブ・会員はIT化を避けて通ることはできません。

第2600地区方針及び行動目標

地区標語

「Basic & New!」

行動指針 「長所を認め合い絆を深めよう」

2016-2017年度ロータリー目標

優先項目1：クラブのサポートと強化

- 目標1 最近の退職者および若い職業人に働きかけて会員増強を図る
- 目標2 会員の積極的参加とクラブの充実化を図り、会員維持率を向上させる
- 目標3 会長賞へのクラブの参加を増やす
- 目標4 ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる

優先項目2：人道的奉仕の重点化と増加

- 目標5 永久にポリオを撲滅する
- 目標6 年次基金へのクラブ寄付平均、および財団補助金へのDDF(地区財団活動資金)拠出を高める
- 目標7 ポリオ撲滅への支援を続けるためにクラブと政府からの寄付を増やす
- 目標8 財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める
- 目標9 青少年や若きリーダーの支援およびロータリーの6つの重点分野と関連したプログラムや活動において持続可能性を高める

優先項目3：公共イメージと認知度の向上

- 目標10 ロータリーに対する人びとの認識を高める
- 目標11 ロータリーの功績と「世界でよいこと」をしてきた財団の100年の歴史について広報する

◎重点事業

I 「会員増強」…【目標】各グループ純増10名「会員増強」

この数年2,000名の会員確保に苦慮している状況は当地区の最大の問題点

- ①ロータリーが果たした役割を多くの人々に知って貰う事が極めて重要
- ②ロータリーとは何か、何に取り組んでいるかをクラブを通じて地域社会に情報を広げる

③社会貢献をしたい人達がロータリー入会こそが世界を変える方法だと考えるようにする事、その為にはクラブにその機会を提供する用意が必要

④クラブ会長や全ての会員に、ロータリーへの入会が人類の為のロータリー奉仕を通じてより良い世界を築く機会である事を認識して貰う事

⑤ロータリーの功績を知る人が増えればパートナー団体・資金・会員増に繋がる

II 「CLP」の運用によるクラブの強化

- ①長期計画の立案(会員の計画課程参加)=クラブ協議会
- ②将来の指導者育成 → 指導の継続と確実な引継ぎ
- ③親睦を深める為の機会の提供

III 「職業奉仕」の見える化

多様性を強みとするロータリーは職業分類を基本としていて様々な職業の会員が在籍 → 会員が、小学校・中学校・高等学校等で自分の職業に関する話(出前講座)を行う → ロータリーを知って貰う → 将来の会員増強

◎継続事業

I ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付

今年度はロータリー財団設立100周年の記念すべき年

ロータリーと財団は車の両輪

ロータリー財団へは一人150ドル、ポリオ撲滅と平和センターへ各々一人500円

(財団設立100周年を記念して必ず達成させる)

米山記念奨学会へは普通寄付3,000円以上と特別寄付を合わせ一人20,000円以上を目指す

II 青少年育成事業への支援

重点事業として継続するが、事業内容の精査・見直しも必要

III RLI方式による参加者全員発言手法の推進

◎地区組織・財務・運営の改訂

新たに「国際室」を設置する